

薬学体験実習

Pharmacy Experience

1 単位 (必修) 1 年 (前期), 2 年 (前期)

全薬学部教員

【授業目的】薬学生として学習に対するモチベーションを高めるために、卒業生の活躍する現場などを体験する。

【授業概要】本実習の目的・重要性などについてのガイダンスを行い、現場体験で何を知りたいかを学生主体で討論した後、薬剤師および薬学部卒業生が活動する病院、薬局、製薬企業および行政機関の現場を体験する。体験学習の後、各業務での薬学関係者の役割や重要性などについてスモールグループ討論などにより意見発表を行う。

【授業形式】実習

【履修上の注意】薬学体験実習は、薬学部あるいは大学院を卒業後に就職する可能性のある施設を見学することにより、学習意欲を高め、薬学部での勉学目標をはっきり持つてもらふことを目的にしています。卒業後の進路は、臨床薬剤師業務以外にも企業での新薬開発研究、行政機関の保健衛生業務や大学などでの研究活動等多岐にわたっています。この体験実習を学生諸君が将来進むべき方向を見いだす指針として役立てて下さい。

【到達目標】

1. 病院薬剤師業務

1) 病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。

2. 薬局薬剤師業務

1) 開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。

3. 製薬企業等における業務

1) 製薬企業等に関わる業務を見聞し、社会において果たしている役割について討議する。

4. 行政機関業務

1) 行政機関に関わる業務を見聞し、社会において果たしている役割について討議する。

5. 臨床技能体験

1) AED 使用法、バイタル測定法など基本的な技能を習得する

【授業計画】

1. 上記到達目標に従い体験学習を進める。日程は実習初日のガイダンスで説明する。

【成績評価】出席状況、発表・討論における態度およびレポートで評価する。

【再試験】実施しない。

【教科書】ヒューマニズム・薬学入門 (東京化学同人)」を使用し、適宜参考資料などの配布も行う。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217207>

【連絡先】

⇒ 際田 (088-633-7259, hkiwada@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 土屋 (薬物機能制御学講座, 088-633-7250, tsuchiya@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 随時 (9:00 - 16:00))